

(様式第1号別紙1-1)

介護職員養成研修課程カリキュラム表 (介護職員初任者研修課程)

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解 (1時間)	・介護保険による居宅サービス ・介護保険による施設サービス ・介護保険外のサービス	(1)-①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解 (5時間)	・介護サービスを展開する現場(居宅・施設)の実際 ・介護サービスの提供にいたるまでの流れ ・介護過程とチームアプローチ(他職種・地域連携)	(1)-②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護 (6時間)	・人権と尊厳の保持 ・ICF(国際生活機能分類) ・QOL(生活の質) ・ノーマライゼーション ・虐待防止と身体拘束禁止	(2)-①
	②自立に向けた介護 (3時間)	・自立支援(意欲と動機づけ・残存能力の活用・重度化防止・個別ケア) ・介護予防(活動的な生活・社会参加)	(2)-②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携 (2時間)	・訪問介護と施設介護サービスの違い、地域包括ケア ・介護の専門性(利用者主体の根拠に基づく自立支援介護・チームケアの重要性) ・異なる専門性を持つ多職種協働の機能・役割・効果	(3)-①
	②介護職の職業倫理 (1時間)	・専門職の倫理の意義 ・介護福祉士の倫理 ・介護職と社会的責務	(3)-②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント (1.5時間)	・介護リスクマネジメント ・事故予防、安全対策、事故発生時の対応・報告、再発防止 ・感染対策	(3)-③
	④介護職の安全 (1.5時間)	・介護職の心身の健康管理(ストレスマネジメント、ワークライフバランス、腰痛予防、) ・感染対策の活動、手洗いとうがい	(3)-④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度 (4時間)	・介護保険制度の目的、動向 ・制度のしくみ、要介護認定、介護給付・予防給付 ・財源(保険料・利用者負担)、組織、機能と役割	(4)-①
	②医療との連携とリハビリテーション (2時間)	・医療行為と医療チームの一員としての介護職の役割 ・訪問看護 ・施設における看護と介護の役割・連携 ・リハビリテーション	(4)-②
	③障害者福祉制度およびその他制度 (3時間)	・障害者福祉制度の概念 ・障害者福祉制度のしくみの基礎的理解 ・日常生活自立支援事業、成年後見制度、個人情報保護法	(4)-③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション (4時間)	・コミュニケーションの意義、目的、役割 ・効果的なコミュニケーション ・利用者、家族の心理的理解と信頼関係の形成 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術	(5)-①
	②介護におけるチームのコミュニケーション (2時間)	・記録の意義、目的、種類、書き方、保管 ・報告、連絡、相談の方法と留意点 ・会議の意義、目的、参加するときの留意点	(5)-②

(6) 老化の理解 (6時間)	① 老化に伴うこころとからだの変化と日常 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の定義 ・ 老年期の発達と老化にともなう心身の変化の特徴 ・ 廊下にともなう心身の機能の変化と日常生活への影響 	(6) - ①
	② 高齢者と健康 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康寿命、高齢者の症状・疾患の特徴 ・ 高齢者に多い病気 ・ 介護時のチェックポイント 	(6) - ②
(7) 認知症の理解 (6時間)	① 認知症を取り巻く状況 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアの理念 (パーソンセンタードケア)、倫理 ・ 認知症ケアの視点 (寄り添う介護) 	(7) - ①
	② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症とは何か ・ 定義と診断 ・ 原因となる病気とその病態 ・ 治療、QOL (生活の質) を高める活動と予防、早期発見 	(7) - ②
	③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中核症状と行動・心理症状 (BPSD) の理解 ・ 日常生活における困難のとらえ方と背景要因 ・ 生活環境づくりとコミュニケーション (かかわり方) 	(7) - ③
	④ 家族への支援 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族介護者の理解と支援 ・ 家族の介護負担の軽減や一時的な休息 (レスパイト) 	(7) - ④
(8) 障害の理解 (3時間)	① 障害の基礎的理解 (0.5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の概念と ICF ・ 障害者福祉の基本理念 (ノーマライゼーション) 	(8) - ①
	② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害 (視覚、聴覚・言語、運動機能、内部障害) ・ 知的障害、精神障害、発達障害 ・ 難病 	(8) - ②
	③ 家族の心理、かかわり支援の理解 (0.5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の理解と障害の受容支援 ・ 介護負担の軽減 	(8) - ③
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習 (10~13時間)】		
	① 介護の基本的な考え方 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理論にもとづく介護 ・ 法的根拠にもとづく介護 	(9) - ①
	② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習と記憶に関する基礎知識 ・ 感情と意欲に関する基礎知識 ・ 自己概念と生きがい ・ 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 	(9) - ②
	③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイタルサイン (体温、呼吸、脈拍、血圧) と早期発見 ・ 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・ 骨、関節、筋に関する基礎知識とボディメカニクス ・ 中枢神経と体性神経に関する基礎知識 ・ 自律神経と内部器官に関する基礎知識 	(9) - ③
【イ 生活支援技術の講義・演習 (50~55時間)】			
④ 生活と家事 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立生活を支える家事と援助のポイント ・ 家事援助に関する基礎的知識と生活支援 	(9) - ④	

	⑤快適な居住環境整備と介護 (4.5時間)	・安心で快適な居住環境と家庭内事故の種類と防止 ・居住環境整備と福祉用具の活用	(9)－⑤
	⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (4.5時間)	・整容に関する基礎知識(身じたく) ・整容の支援技術(洗面、整髪、ひげそり、爪切り、化粧、衣服の着脱)	(9)－⑥
	⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (10時間)	・移動・移乗に関する基礎知識 ・移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法 ・利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援 ・移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 ・外出と社会参加の留意点と支援	(9)－⑦
	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)	・食事に関する基礎知識(ところとからだのしくみ) ・食事環境の整備と用具の活用方法 ・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援	(9)－⑧
	⑨入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (8時間)	・入浴・清潔保持に関連する基礎知識 ・浴室環境の整備と用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法	(9)－⑨
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)	・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境の整備と用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	(9)－⑩
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (4時間)	・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境の整備と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 (3時間)	・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程 ・「死」に向き合うこころの理解 ・苦痛の少ない死への支援	(9)－⑫
	【ウ 生活支援技術演習(10～12時間)】		
	⑬介護過程の基礎的理解 (4時間)	・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習 (8時間)	・「事例」を用いて、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。	(9)－⑭
(10)振り返り (4時間)	①振り返り (2時間)	・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点	(10)－①
	②就業への備えと研修終了後における継続的な研修 (2時間)	・継続的に学ぶべきこと ・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例(Off-JT、OJT)と介護職のキャリアアップのしくみの説明	(10)－②